

中学歴史プリント（書き取り） 安土桃山時代

名前

得点

/22

- | | |
|-----|---|
| 問1 | 鉄砲がポルトガル人によって日本に伝えられた時期はいつ？ |
| 問2 | 16世紀のヨーロッパで勢力を拡大し、カトリック教会の自己改革を促した宗派を何という？ |
| 問3 | 鉄砲の伝来によって大きく戦術が変容し、地方の武士団が争いを続けた時代を何という？ |
| 問4 | マゼラン艦隊が世界一周の航海に出発した年はいつ？ |
| 問5 | 豊臣秀吉が全国を統一するために行った、土地の調査や生産力の把握を目的とした政策を何という？ |
| 問6 | インドへの航路開拓を目指し、アフリカ大陸南端の地を拠点とした国はどこ？ |
| 問7 | 安土桃山時代に権力者や大名が築き、狩野永徳らが内部を飾った、防御と権威を示す巨大な建物を何という？ |
| 問8 | 室町時代末期、種子島にポルトガル人によって伝来し、日本の戦術を大きく変えた兵器を何という？ |
| 問9 | 桃山文化を象徴する城郭建築であり、現存する世界遺産でもある代表的な遺構を何という？ |
| 問10 | 織田信長や豊臣秀吉の時代に栄えた、豪華で壮大な文化を何という？ |
| 問11 | 15世紀末、喜望峯を経由してインドへ到達する航路を初めて開拓した国はどこ？ |
| 問12 | 1519年に世界一周の航海に出発した人物は誰？ |
| 問13 | 豊臣秀吉による朝鮮出兵を、別名で何という？ |
| 問14 | 安土桃山時代にポルトガルなどのイベリア半島の国々で行われた貿易を何という？ |
| 問15 | 16世紀半ば、日本にキリスト教を伝えたフランシスコ・ザビエルなどが所属していたカトリック教団を何という？ |
| 問16 | 豊臣秀吉が全国の大名に対し、互いに領地争いをすることを禁じた法令を何という？ |
| 問17 | 安土桃山時代に活躍し、城郭の内部を飾る豪華な障壁画を描いた代表的な絵師は誰？ |
| 問18 | 16世紀に日本へ来航し、鉄砲やキリスト教などを伝えた国はどこ？ |
| 問19 | 兵農分離の政策において、武士とは別に農業に専念させられた人々を何という？ |
| 問20 | 豊臣秀吉が、キリスト教の布教が自らの支配の妨げになると考え、1587年に出した宣教師の国外追放を命じる法令を何という？ |
| 問21 | 朝鮮出兵の際、日本に連れてこられ、九州地方を中心に有田焼などの優れた焼き物作りを始めた人々を何という？ |
| 問22 | 桃山文化を代表する建築物で、その白く美しい外観から「白鷺城」とも呼ばれる城は？ |

答え合わせ・解説

問1	答え 16世紀半ば	1543年、種子島に漂着したポルトガル人によって鉄砲がもたらされました。これは「16世紀半ば」の出来事として日本史の大きな転換点となりました。当時、火薬の原料である硝石などは自国で十分な量を確保できなかったため、南蛮貿易を通じて輸入することが極めて重要でした。
問2	答え プロテスタント	16世紀、ドイツのルターらが始めた宗教改革により、多くの信者がカトリック教会から離脱し、新たにプロテスタントとして結集しました。これに対抗するため、カトリック教会内部でも自己改革が進められ、イエズス会による海外への布教活動が活発化しました。
問3	答え 戦国時代	戦国時代は、各地で地域的に有力な武士（戦国大名）が領国支配を進めた時代です。1543年の鉄砲伝来により戦術が一変し、大規模な歩兵による集団戦が可能となりました。織田信長をはじめとする強大な大名が登場し、全国統一を目指して激しい攻防を繰り返しました。
問4	答え 1519年	1519年9月、マゼランはスペイン王カルロス1世の支援を受けて、5隻の船と約270名の船員を率いて出航しました。大西洋を渡り、南アメリカ大陸を迂回して広大な太平洋を横断するという、当時の技術では極めて困難な挑戦でした。
問5	答え 太閤検地	太閤検地では、全国統一の尺度を統一し、土地の面積と収穫量（石高）を調査しました。これにより、年貢を誰からどれだけ徴収すべきかが明確になり、支配体制が強固になりました。あわせて「刀狩」を行い、武士と農民の身分を分離したことで、安定した社会構造を作りました。
問6	答え ポルトガル	ポルトガルは国家事業としてアフリカ西岸の探検を支援し、インドへ直接向かうルートを模索しました。その結果、アフリカ南端の喜望峰を経由してインドへ至る航路が発見され、ポルトガルはアジア貿易の覇権を握ることになりました。
問7	答え 城郭	安土桃山時代の城郭は、石垣を高く積み、高い天守をそびえさせることで防御力を高めるとともに、権力者の威厳を示す象徴となりました。その内部はふすまや壁に狩野永徳らによって金碧障壁画が描かれ、豪華な空間に仕上げられました。
問8	答え 鉄砲	鉄砲は、それまでの弓矢や接近戦主体の戦い方とは異なり、訓練次第で誰でも強力な威力を発揮できる画期的な武器でした。日本国内ですぐに模倣生産が始まり、爆発的に普及しました。
問9	答え 姫路城	姫路城は、現在の兵庫県に位置し、関ヶ原の戦いの前後に完成した城郭建築の傑作です。白漆喰で塗られた外観は美しく「白鷺城」とも呼ばれます。当時の書院造の建築技術と、複雑な防御機能が組み合わさった歴史的価値の高い遺構として世界遺産にも登録されています。
問10	答え 桃山文化	桃山文化は、金箔をふんだんに使用した障壁画や、雄大な城郭建築などが特徴です。狩野永徳などの絵師が活躍し、また茶の湯などの独自の文化も発展しました。非常に華やかで勢いのある文化です。
問11	答え ポルトガル	王子エンリケによる航海事業の支援などを経て、探検家たちは着々とアフリカ南下を進めました。ついに1498年、バスコ・ダ・ガマが喜望峰を回ってインドのカリカットに到達し、アジアへの直接航路を確立しました。
問12	答え マゼラン	マゼランは5隻の船団を率いてスペインを出港しました。南アメリカ大陸南端の海峡を抜けて太平洋を横断するという過酷な航海でしたが、彼の船団は世界で初めて地球を一周しました。なお、マゼラン自身はフィリピンでの争いで命を落としたため、帰還したのは部下のエルカーノらわずか1隻の船でした。
問13	答え 文禄・慶長の役	この出兵は、時期によって二回に分けられます。最初の1592年の戦いを「文禄の役」、1597年から始まった二度目の戦いを「慶長の役」と呼び、これらを総称して「文禄・慶長の役」と呼称します。朝鮮軍の必死の抵抗や、李舜臣率いる水軍による反撃、さらに明の援軍により、戦況は長期化して膠着状態に陥りました。
問14	答え 南蛮貿易	この時期に行われた貿易を南蛮貿易と呼びます。日本は銀を輸出し、代わりに火薬の原料である硝石や鉄砲、中国産の生糸などを輸入しました。これにより、日本の軍勢力や経済が大きく変わりました。
問15	答え イエズス会	16世紀、大航海時代を経て欧州から宣教師たちが日本へ訪れました。彼らが所属していたイエズス会は、キリスト教の布教を積極的に行いました。その活動は、キリスト教の普及だけでなく、南蛮貿易の窓口ともなりました。のちに豊臣秀吉によるバテレン追放令などの弾圧を受けますが、当時の日本と西洋の文化・経済交流において多大な影響を与えました。
問16	答え 総無事令	秀吉は、自らが天下人であることを内外に認めさせるため、武力で解決することを制限しました。総無事令は、大名間の領地争いを禁止し、違反した者は秀吉の敵と見なすという厳しい内容でした。この法令により、全国の領土問題は秀吉の裁定に委ねられるようになり、平和な近世社会を築くための強力な統治手段となりました。
問17	答え 狩野永徳	狩野永徳は狩野派の絵師として、織田信長や豊臣秀吉に仕えました。金地を背景に力強い筆致で描かれた『唐獅子図屏風』や、大坂城の障壁画などが有名です。その作品は華やかさと威圧感があり、桃山文化の象徴となりました。
問18	答え ポルトガル	ポルトガル人は日本に來航し、種子島に鉄砲を伝えたほか、キリスト教を布教しました。また、パンやカステラ、タバコなど、後に日本独自の文化と融合する多くのものをもたらしました。
問19	答え 百姓（農民）	豊臣秀吉は「刀狩」を行い、百姓から刀や槍などの武器を取り上げました。これにより、武士と百姓の身分が明確に分けられました。百姓は村に縛り付けられ、農業生産に集中させられることとなりました。
問20	答え バテレン追放令	戦国時代から安土桃山時代にかけて、キリスト教は急速に広まりました。しかし、九州地方での寺院の破壊や、権力に対する脅威を感じた豊臣秀吉は、1587年にバテレン追放令を出しました。この法令により宣教師の国外退去が命じられましたが、南蛮貿易による利益を考慮したため、すぐには完全な禁教には至りませんでした。後の江戸幕府による鎖国体制への先駆けとなる政策の一つです。
問21	答え 陶工	特に九州の大名たちは彼らを保護し、磁器の原料となる陶石を採させました。その結果、佐賀県の有田などで磁器の生産が始まり、後の有田焼や伊万里焼といった世界的に有名な日本の陶磁器ブランドの基礎が築かれました。
問22	答え 姫路城	姫路城は、桃山文化特有の豪華で壮大な建築様式を今に伝える代表的な城郭です。高度な防御機能と美しいデザインが融合しており、当時の高い建築技術を現代に示しています。